

第 8 期（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）事業報告

小豆島オリーブバス株式会社

1. 現況に関する事項

（1）事業の経過及びその成果

小豆島の人口は 28,000 人を割り込み（平成 29 年 10 月 1 日現在 27,931 人）、相変わらず少子高齢化が進展している現状です。

しかし、行政や観光協会などによる様々な観光 PR やイベントの開催などの積極的な情報発信や広報活動、また 2016 瀬戸内国際芸術祭などにより、国内だけでなく海外からのお客様も多く、島の交流人口は着実に増加していると思います。

このような状況の下、当社では昨年の 3 月 20 日から大幅な路線再編（運行形態の見直し、運賃の大幅値下げ、運行時刻の変更）を行い、将来の超高齢化社会を踏まえるとともに、昨年 4 月の小豆島中央病院の開院、今年 4 月の小豆島中央高校の開校など新拠点への移動手段、生活基盤の変化に対応し、小豆島の主要産業である観光についても、更なる振興を図るため多くの来訪者の移動を支えるなど、小豆島に暮らす、また訪れる全ての人々が安心して利用できる移動手段の確保を目指し、路線バスは島民の生活環境の安定に欠かすことのできない、島内唯一の公共交通機関であるとの認識の下、安心・安全な運転、親切・丁寧な対応をモットーに、公共交通の維持確保に努めました。

その結果、当期の経常収入 185,979 千円余（前年対比 4,945 千円余増）、経常費用 201,906 千円余（前年対比 2,129 千円増）、特別利益 29,864 千円余で、税引き後の当期利益は 10,169 千円余となりました。

昨年は 2016 瀬戸内国際芸術祭による利用者の増大がありました。今期は、瀬戸内国際芸術祭の影響もほぼなくなることから、運賃値下げにより運送収入面が大いに心配されたところでしたが、高校生の通学などの島内利用者や、多くの旅行者、特に海外からのお客様に島内観光に路線バスを利用していただきまして利用者数は増となりました。

今後も、小豆島で暮らす人、小豆島を訪れる人、全ての人々が安心して利用できる公共交通を目指し、安心・安全な運転、親切・丁寧な対応に努め、島の「足」として島民はもとより小豆島を訪れる観光客など、より一層多くの方々に利用していただけるよう、社員一丸となって努力してまいり所存でございます。

(2) 従業員の状況 (平成30年1月1日現在)

	正社員			契約社員等		合計
	乗務 運転手	事務職	平均年 齢	乗務 運転手	その他	
男	22	3	52.7	11	0	36
女	0	2	56.5	0	0	2
合計	22	5	53.0	11	1	38

(3) 株式発行に関する事項

1. 発行済株式総数 4,200株
2. 当事業年度末の株主総数 28名
3. 上位4名の株主

株主名	持株数	持株比率
土庄町 町長 三枝 邦彦	1,100株	26.19
小豆島町 町長 塩田 幸雄	1,100株	26.19
土庄町自治会連絡協議会 会長 松下 龍雄	200株	4.76
小豆島町自治連合会 会長 松村 英明	200株	4.76

(4) 役員に関する事項

1. 取締役 11名
2. 監査役 2名

(5) 損益計算書

(平成28年10月 1日 ~ 平成29年9月30日)

(単位：円)

科 目	金 額	
[売上高]	184,157,772	
[売上原価]	30,369,983	
売上総利益		153,787,789
[販売費及び一般管理費]	171,459,890	
営業利益		△17,672,101
[営業外収益]	1,821,472	
[営業外費用]	75,778	
経常利益		△15,926,407
[特別利益]	29,864,076	
税引前当期純利益		13,937,669
法人税、住民税及び事業税		3,767,900
当期純利益		10,169,769